

株主の皆様へ

第62期 報告書

平成24年4月1日から
平成25年3月31日まで

グローバルチャレンジ プラス・ONE 更なる成長から挑戦へ

刻々と変化する市場環境にスピーディーに、的確に対応し、企業体質の強化を目指す。

株主の皆様には、平素は格別のご支援を賜り厚く御礼申しあげます。当社第62期（平成24年4月1日から平成25年3月31日まで）の営業の概況についてご報告申し上げます。

当事業年度におけるわが国経済は、復興需要等を背景に一部に持ち直しの動きが見られたことや昨年末に発足した新政権の経済政策や日銀の金融緩和への期待感から円安株高等に転じ、景気に回復の兆しが見えはじまりましたが、年度初めからの欧州債務危機問題や産業の空洞化の影響など総じて厳しい状況で推移いたしました。

当社を取り巻く機械器具関連業界においては、中国での需要の落ち込みによる輸出の減少や製造拠点の海外移転による国内設備投資の伸び悩み、年度後半にはそれまで堅調に推移していた自動車関連産業もエコカー補助金終了の影響を受け停滞するなど厳しい状況で推移いたしました。

このような状況下で、当社においては『新たな競争時代の幕開けに向けての年』を基本方針として、創業者精神を基軸に刻々と変化する市場環境への対応、新たな販売商品・販路の拡大、お取引先のニーズに対して、よりスピーディーに、よりの確に対応し、企業体質の強化を目指した営業展開を図ってまいりました。

今後の事業範囲拡大のため、グループの再編および取得を実施。

具体的には、平成24年6月に東京ビッグサイトで開催されました機械要素技術展に続き、平成24年10月にインテックス大阪で開催されました関西機械要素技術展にも出展したほか、当社Webカタログの製品情報サイト及び商品カタログ名である「MEKASYS」(<http://www.mekasys.jp>)を日伝ブランドとして浸透させるべく、引き続き支店・営業所単位でも積極的に展示会の開催を行ってまいりました。12月にはWebカタログサイトと連携した販売ツールとして、60万点以上を掲載したメカニカルパーツ&システム総合カタログ『MEKASYS』を発刊し、Web版との連携も強化いたしました。また、海外営業基盤の強化・海外拠点の拡充の検討を行うとともに、人材の育成、採用にも注力する一方、国内市場での代理店としての役割・責務を果たすため、営業支援部隊の活用によりさらに踏み込んだニーズの発掘、物流体制の強化、コンサルティング営業能力の向上を図り販売拡大に取り組んでまいりました。

組織面では、平成25年1月26日に当社の100%子会社であった日伝鉄工株式会社を吸収合併し資本の集約を行うとともに、平成25年3月4日には木工用機械等の販売を事業とする岡崎機械株式会社の株式を100%取得し今後の事業範囲の拡大に取り組んでまいりました。

設備面では、平成24年8月に東京支店用地（東京都）、平成25年3月に東部物流センター用地（埼玉県）を取得し、業務効率を高めるとともにお取引先とのより密接な連携、

デリバリー機能の充実を目指しております。

この結果、当事業年度におきましては、売上高803億5千万円（前年同期比5.1%減）、営業利益32億7千6百万円（前年同期比17.6%減）、経常利益34億1千万円（前年同期比17.4%減）となり、当期純利益につきましては、21億1千5百万円（前年同期比6.5%減）と前事業年度と比べて減収減益となりました。

社員一人ひとりが「プラス・ONE」思考で 課題に取り組み お客様の信頼を勝ち取る。

景気の見通しにつきましては、昨年末からの経済対策により企業の景況感に明るさがみられ国内設備投資の回復が期待されるものの、急激な円安による原材料価格の上昇や消費税率引き上げによる需要の影響、海外経済の情勢など懸念される要因もあり、不透明な状況で推移すると予想されます。

こうした中で当社は、全社員が進む方向を一つにしてさらなる存在価値を高めるため、社員一人ひとりが「プラス・ONE」の思考で自発的に課題に取り組み、これまで以上に良質な商品・サービスの提供を図り、お取引先の信頼向上に努めてまいります。

また、外部環境の変化に適應できる人材育成と管理職

のマネジメント能力アップのための研修制度にも合わせて取り組み、さらには海外展開に向けた事業基盤の確立を図ってまいります。

次事業年度の業績見通しにおきましては、売上高860億円、経常利益39億7千万円、当期純利益23億8千万円を見込んでおります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

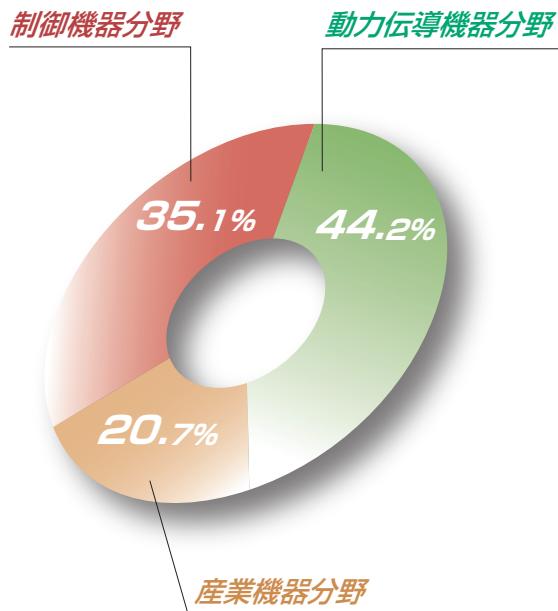
平成25年6月



代表取締役社長

福家利一

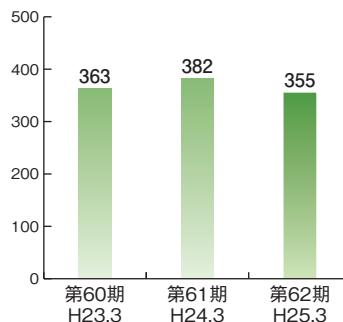
事業分野別売上高構成比



動力伝導機器分野

動力伝導機器分野では、チェーン伝導用品は堅調に推移しましたが、ベルト伝導用品、ベアリング、直動機器などが落ち込んだ結果、売上高355億5千9百万円（前年同期比7.1%減）となりました。

■商品別売上高の推移（単位：億円）



◆主要な取扱商品

減速機/変速機/伝導用品/軸受/工業用材料

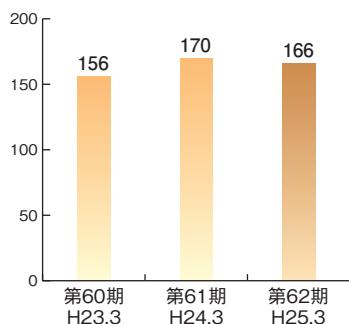
- 減速機/変速機
- チェーン伝導用品/ベルト伝導用品/歯車伝導用品/カップリング/その他伝導関連商品
- ベアリング/直動機器/ベアリングユニット/その他軸受関連商品
- 金属材料/合成材料/セラミック/新素材



産業機器分野

産業機器分野では、コンベヤ関連機器、昇降揚重機など一部には回復の兆しが見えはじめ堅調に推移しましたが、各運搬機器、環境機器、ファンなどが伸び悩んだ結果、売上高166億2千1百万円（前年同期比2.2%減）となりました。

■商品別売上高の推移（単位：億円）



◆主要な取扱商品

荷役運搬機器/モータ/環境機器/FAシステム/
包装・梱包システム

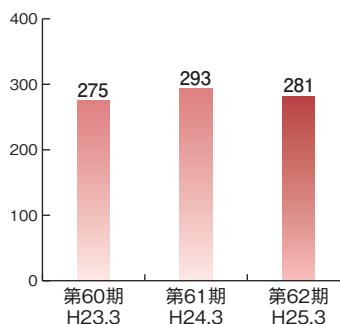
- コンベヤ/運搬機器/振動機/昇降揚重機/保管関連機器/搬送システム/構造用システム機器/包装・梱包システム機器/その他荷役・運搬関連商品
- モータ/環境機器/ファン/集塵・洗浄機器/ポンプ/その他機械器具・工具関連商品



制御機器分野

制御機器分野では、当社が注力した計測機器をはじめ、ロボット、ナットランナ、センサなど堅調に推移したものの、アクチュエータ、ホース、チューブ、継手などが減少した結果、売上高281億6千9百万円（前年同期比4.2%減）となりました。

■商品別売上高の推移（単位：億円）



◆主要な取扱商品

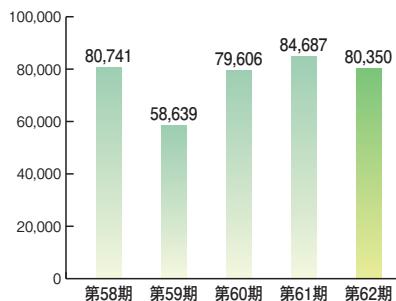
油圧機器/空圧機器/電気/電子

- 油圧機器/空圧機器/真空機器/ホース/チューブ/継手
- シーケンサ/表示器/アクチュエータ/センサ/スイッチ/画像処理/測定機器/計測機器/盤用機器/ロボット/ナットランナ/メカトロパーツ/配管機材/通信・ネットワーク機器/無停電電源装置/その他制御機器関連商品



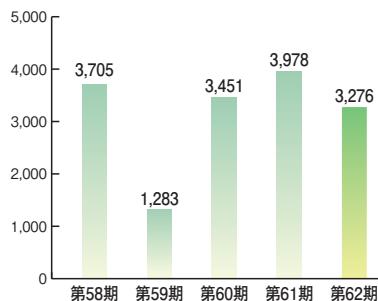
売上高

(単位：百万円)



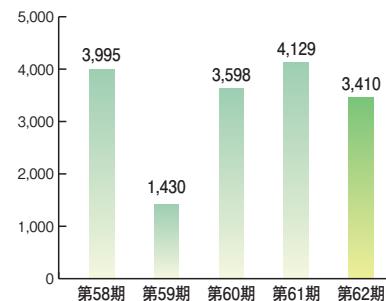
営業利益

(単位：百万円)



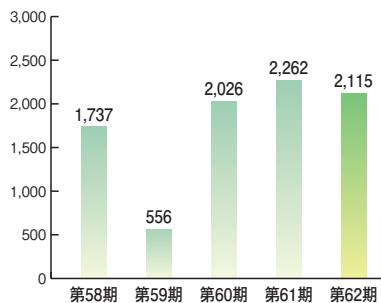
経常利益

(単位：百万円)



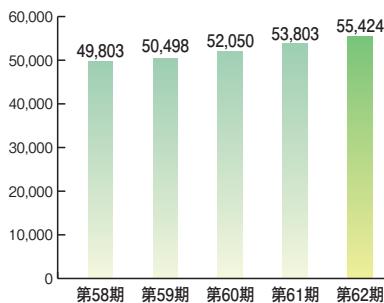
当期純利益

(単位：百万円)



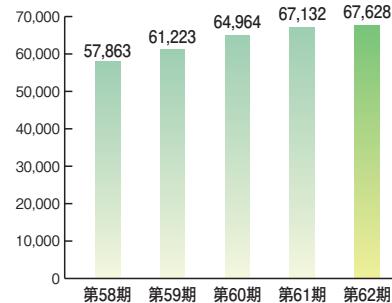
純資産

(単位：百万円)



総資産

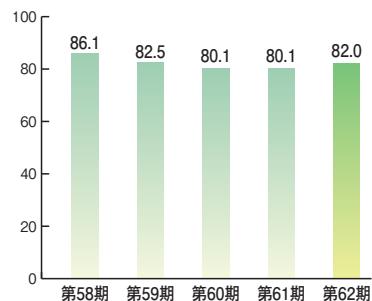
(単位：百万円)



	第58期 (平成21年3月)	第59期 (平成22年3月)	第60期 (平成23年3月)	第61期 (平成24年3月)	第62期 (平成25年3月)
売上高 (百万円)	80,741	58,639	79,606	84,687	80,350
営業利益 (百万円)	3,705	1,283	3,451	3,978	3,276
経常利益 (百万円)	3,995	1,430	3,598	4,129	3,410
当期純利益 (百万円)	1,737	556	2,026	2,262	2,115
純資産 (百万円)	49,803	50,498	52,050	53,803	55,424
総資産 (百万円)	57,863	61,223	64,964	67,132	67,628

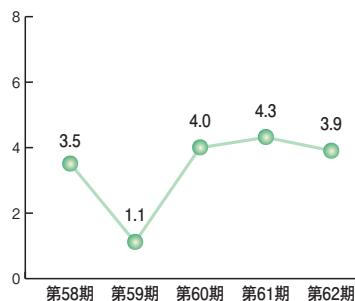
自己資本比率

(単位：%)



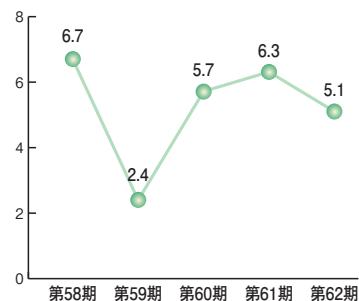
自己資本利益率 (ROE)

(単位：%)



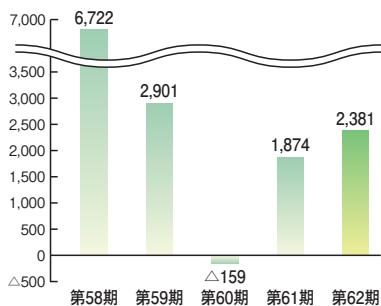
総資産利益率 (ROA)

(単位：%)



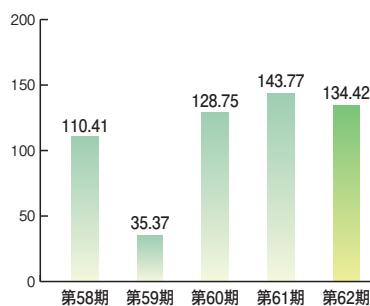
フリーキャッシュ・フロー

(単位：百万円)



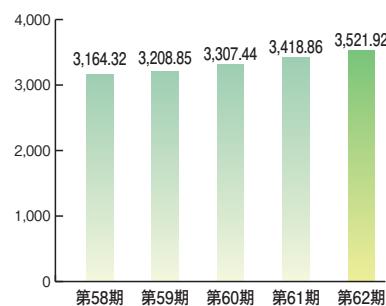
1株当たり当期純利益

(単位：円)



1株当たり純資産額

(単位：円)



	第58期 (平成21年3月)	第59期 (平成22年3月)	第60期 (平成23年3月)	第61期 (平成24年3月)	第62期 (平成25年3月)
自己資本比率(%)	86.1	82.5	80.1	80.1	82.0
自己資本利益率(%)	3.5	1.1	4.0	4.3	3.9
総資産利益率(%)	6.7	2.4	5.7	6.3	5.1
フリーキャッシュ・フロー(百万円)	6,722	2,901	△159	1,874	2,381
1株当たり当期純利益(円)	110.41	35.37	128.75	143.77	134.42
1株当たり純資産額(円)	3,164.32	3,208.85	3,307.44	3,418.86	3,521.92

比較貸借対照表（要旨）

（単位：百万円未満は切捨て）

科目	第62期 平成25年3月31日現在	第61期 平成24年3月31日現在
【資産の部】		
流動資産	49,768	49,784
現金及び預金	25,772	24,431
受取手形	9,031	9,621
売掛金	10,687	10,574
商品	3,789	4,553
その他	506	624
貸倒引当金	△19	△20
固定資産	17,860	17,347
有形固定資産	10,742	9,312
無形固定資産	102	198
投資その他の資産	7,015	7,837
資産合計	67,628	67,132
【負債の部】		
流動負債	8,937	10,263
支払手形	867	1,058
買掛金	6,323	6,861
その他	1,745	2,344
固定負債	3,266	3,065
負債合計	12,203	13,329
【純資産の部】		
株主資本	54,311	52,983
資本金	5,368	5,368
資本剰余金	7,283	7,283
利益剰余金	42,221	40,892
自己株式	△560	△560
評価・換算差額等	1,113	820
その他有価証券評価差額金	1,113	819
繰延ヘッジ損益	—	0
純資産合計	55,424	53,803
負債純資産合計	67,628	67,132

比較損益計算書（要旨）

（単位：百万円未満は切捨て）

科目	第62期 平成24年4月1日から 平成25年3月31日まで	第61期 平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで
売上高	80,350	84,687
売上原価	68,878	72,456
売上総利益	11,471	12,230
販売費及び一般管理費	8,195	8,252
営業利益	3,276	3,978
営業外収益	466	498
営業外費用	332	348
経常利益	3,410	4,129
特別利益	68	6
特別損失	4	48
税引前当期純利益	3,474	4,087
法人税、住民税及び事業税	1,337	1,850
法人税等調整額	21	△24
当期純利益	2,115	2,262

貸借対照表について

流動資産

流動資産は、前事業年度末に比べ1千6百万円減少し、497億6千8百万円となりました。これは、現金及び預金が13億4千1百万円増加したものの、売上高の減少により受取手形が5億9千万円減少、商品が7億6千3百万円減少したこと等によるものであります。

固定資産

固定資産は、前事業年度末に比べ5億1千2百万円増加し、178億6千万円となりました。これは、長期預金が13億円減少したものの、有形固定資産が14億3千万円増加したこと等によるものであります。

損益計算書について

特別利益

特別利益として、日伝鉄工株式会社吸収合併により、抱合せ株式消滅差益62百万円を計上しております。

キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位：百万円未満は切捨て)

科目	第62期	第61期
	平成24年4月1日から 平成25年3月31日まで	平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	2,789	2,021
投資活動による キャッシュ・フロー	△408	△146
財務活動による キャッシュ・フロー	△903	△644
現金及び現金同等物に 係る換算差額	0	1
現金及び現金同等物の 増加額又は減少額 (△)	1,478	1,230
現金及び現金同等物の 期首残高	23,931	22,700
合併に伴う現金及び 現金同等物の増加額	70	—
現金及び現金同等物の 期末残高	25,480	23,931

キャッシュ・フロー計算書について

営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は、27億8千9百万円（前年同期において得られた資金20億2千1百万円）となりました。これは主に、法人税等の支払額が16億7千8百万円、仕入債務の減少額が8億7千6百万円あったものの、税引前当期純利益が34億7千4百万円、売上債権の減少額が5億8千5百万円、たな卸資産の減少額が7億6千万円あったこと等によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は、4億8百万円（前年同期において使用した資金1億4千6百万円）となりました。これは主に、定期預金の払戻による収入が15億1千9百万円あったものの、有形固定資産の取得による支出が17億5千万円あったこと等によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は、9億3百万円（前年同期において使用した資金6億4千4百万円）となりました。これは、1株当たり50円の配当金の支払額が7億8千6百万円あったこと等によるものであります。

株主資本等変動計算書

第62期 平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

(単位：百万円未満は切捨て)

	株 主 資 本					評価・換算差額等			純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	評価・換算 差額等合計	
平成24年4月1日残高	5,368	7,283	40,892	△560	52,983	819	0	820	53,803
事業年度中の変動額									
別途積立金の積立			—		—				—
剰余金の配当			△786		△786				△786
当期純利益			2,115		2,115				2,115
自己株式の取得				△0	△0				△0
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額 (純額)					—	293	△0	293	293
事業年度中の変動額合計	—	—	1,328	△0	1,328	293	△0	293	1,621
平成25年3月31日残高	5,368	7,283	42,221	△560	54,311	1,113	—	1,113	55,424

● 岡崎機械株式会社との株式譲渡契約締結

平成25年3月4日、岡崎機械株式会社との株式譲渡契約が締結され、これにより当社の100%子会社となりました。長年に亘る同社の木工用機械等の販売とその刃物の研磨・メンテナンス事業ならびに食品・薬品関連専用機的设计製造事業等を全面的に支援し、これまで以上の事業範囲の拡大によりお取引様のニーズの発掘、提供価値の向上を図り更なる販売拡大を目指します。

岡崎機械株式会社の概要

所在地：岡山県倉敷市下庄1138番地12

社員数：36名

資本金：2,100万円



● 海外拠点のご案内 ～インドネシア駐在員事務所開設～

自動車を中心とした日系製造企業の顧客需要情報収集、営業支援の拠点として、インドネシア共和国ジャカルタ市に事務所を開設することいたしました。

名称：NICHIDEN Corporation Indonesia Representative Office

株式会社日伝 インドネシア駐在員事務所

所在地：Allianz Tower 29th Floor, Unit C&D, Jl. HR. Rasuna Said, Superblock2, Kawasan Kuningan Persada, Jakarta 12980 Indonesia

開設日：平成25年7月（予定）

社会貢献活動 ～にちでんの森（植林体験）活動～

第4回「にちでんの森 ～ACCESS to ECO～」(フォレストマッチング推進事業～協働の森づくり～)を昨年度に引き続き創業者（西木 利吉）の故郷の近くでもある香川県木田郡三木町の森林において植林による森づくり活動を平成25年3月16日（土）に近畿圏の各部門より約50名の参加により実施いたしました。

第4回活動の様様



伝えます 未来にやさしい環境を
ACCESS to ECO
～環境をシステムで創造する企業日拓～



産学官共同事業 ～GREEN CLOCKS新世代植物工場～

当社は、公立大学法人大阪府立大学、伊東電機株式会社、エスベック株式会社との共同事業として、経済産業省の「先端技術実証・評価設備整備費等補助金」の採択を受けました。完全自動化の新世代植物工場の開発・実証・展示・研修などの事業への支援を展開してまいります。

設備の概要（計画）

栽培室：550.2m²

育苗室：156.0m²

日産：5,130株（レタス栽培の場合）



（全体イメージ図）

● 会社の概要 (平成25年3月31日現在)

商号	株式会社 日伝
英文社名	NICHIDEN Corporation
設立	昭和27年1月26日
本社所在地	大阪市中央区上本町西一丁目2番16号
資本金	53億6千8百万円
従業員数	726名

● 役員 (平成25年6月21日現在)

代表取締役会長	西木 利彦
代表取締役社長	福家 利一
専務取締役	西木 利博 社長特命事項担当
専務取締役	森田 久孝 海外・経営企画担当
常務取締役	酒井 義之 東部ブロック担当
取締役	榊原 恭平 MEシステム統括部長
取締役	岡本 賢一 中部ブロック長
取締役	寒川 睦志 営業本部長兼営業推進部長
取締役	檜垣 泰雄 管理本部長兼総務部長
常勤監査役	河村 竹佳
常勤監査役	石谷 勇児
監査役	小山 章松
監査役	古田 清和

(注) 監査役のうち、小山章松、古田清和の両氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。なお、当社は古田清和氏を東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届け出ております。

● ホームページのご案内

当社ホームページ



<http://www.nichiden.com>

IR情報

Webカタログの製品情報サイト



「MEKASYS(メカシス)」は、取扱商品50万点以上の仕様・価格や図面データも閲覧できる製造業に関わる人たちのためのメカニカルパーツ&システム専門のWebカタログです。



<http://www.mekasys.jp>

電子購買サービス



「PROCUEbyNET(プロキュバイネット)」は、ものづくり現場における工場用MRO商品(生産用副資材)受発注のための会員制ポータルサイトです。



<http://www.procuebynet.com>

事業所 (平成25年6月21日現在)

■ 東部ブロック

東京支店	〒115-8567	東京都北区神谷3-47-4
札幌営業所	〒065-0016	札幌市東区北16条東3-2-5
北上営業所	〒024-0061	岩手県北上市大通り2-3-12
仙台営業所	〒983-0043	仙台市宮城野区萩野町2-12-7
郡山営業所	〒963-8851	福島県郡山市開成6-201-2
新潟営業所	〒950-0812	新潟市東区豊2-1-9
水戸営業所	〒310-0913	茨城県水戸市見川町2563-16
小山営業所	〒323-0042	栃木県小山市外城110-34
高崎営業所	〒370-0046	群馬県高崎市江木町1458-1
埼玉営業所	〒331-0804	さいたま市北区土呂町2-12-3
上田営業所	〒386-0005	長野県上田市古里79-8
千葉営業所	〒260-0032	千葉市中央区登戸1-10-29
横浜営業所	〒221-0834	横浜市神奈川区台町7-8-101
南関東営業所	〒243-0434	神奈川県海老名市上郷959-1
西東京営業所	〒197-0012	東京都福生市加美平2-19-8

■ 西部ブロック

大阪支店	〒542-8588	大阪市中央区上本町西1-2-16
八日市営業所	〒527-0039	滋賀県東近江市青葉町1-44
滋賀営業所	〒520-3024	滋賀県栗東市小柿6-9-2-1-1
京都営業所	〒612-8445	京都市伏見区竹田浄菩提院町97
東大阪営業所	〒578-8511	大阪府東大阪市本庄西2-3-27
北大阪営業所	〒532-0004	大阪市淀川区西宮原2-7-38-701
堺営業所	〒590-0943	堺市堺区車之町東2-2-19
神戸営業所	〒652-0805	神戸市兵庫区羽坂通3-7-15
姫路営業所	〒670-0056	兵庫県姫路市東今宿5-2-6
岡山営業所	〒700-0972	岡山市北区上中野2-1-7
福山営業所	〒721-0955	広島県福山市新涯町1-13-16
広島営業所	〒733-0833	広島市西区商工センター4-14-21
四国営業所	〒761-0301	香川県高松市林町2027-5

■ 九州地区

九州支店	〒812-9551	福岡市博多区東那珂1-18-11
北九州営業所	〒804-0012	北九州市戸畑区中原東2-6-15
熊本営業所	〒862-0913	熊本市東区尾ノ上1-9-20

■ 中部ブロック

名古屋支店	〒466-8533	名古屋市昭和区白金2-10-7
富山営業所	〒930-0831	富山県富山市鍋田11-18
北陸営業所	〒920-0027	石川県金沢市駅西新町3-18-13
松本営業所	〒390-0828	長野県松本市庄内2-2-21
静岡営業所	〒422-8027	静岡市駿河区豊田3-2-34
浜松営業所	〒435-0045	浜松市中区細島町6-1
豊橋営業所	〒441-8028	愛知県豊橋市立花町46-2
岡崎営業所	〒444-0863	愛知県岡崎市東明大寺町3-2
小牧営業所	〒485-0829	愛知県小牧市小牧原4-111
鈴鹿営業所	〒510-0236	三重県鈴鹿市中江島町20-20

■ 物流センター

東部物流センター	〒339-0042	さいたま市岩槻区府内3-1-5
中部物流センター	〒485-0829	愛知県小牧市小牧原4-111
西部物流センター	〒578-8533	大阪府東大阪市吉田本町1-3-30



東部物流センター



中部物流センター



西部物流センター



- 東部ブロック
- 中部ブロック
- 西部ブロック
- 九州地区

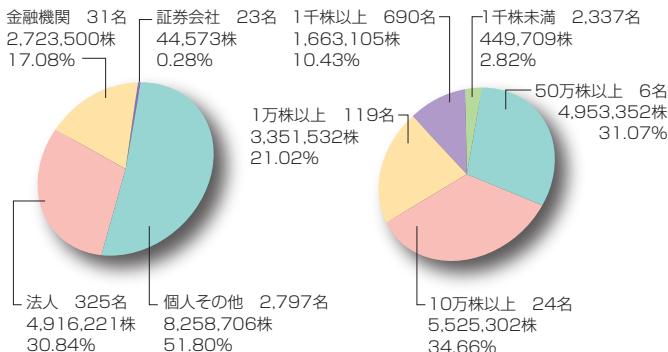
株式の状況 (平成25年3月31日現在)

- 発行可能株式の総数…………… 63,000,000株
- 発行済株式の総数…………… 15,737,146株
(自己株式205,854株を除く。)
- 株主数…………… 3,176名
- 大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日伝共栄会	1,627	10.34
日伝仕入先持株会	808	5.14
西木 進	743	4.72
株式会社利双企画	700	4.44
株式会社みずほ銀行	550	3.49
有限会社ニシキ興産	523	3.32
株式会社百十四銀行	491	3.12
日伝従業員持株会	489	3.10
西木 利彦	415	2.63
西木 利博	373	2.37

(注) 持株比率は自己株式(205,854株)を除いて計算しております。

●所有者別株式分布状況 ●所有株式数別株式分布状況



株主優待制度のお知らせ

日頃のご愛顧にお応えするため、毎年9月30日現在の株主名簿に記載または記録された株主様のご住所へ次のとおりご優待品を12月中に贈呈させていただきます。

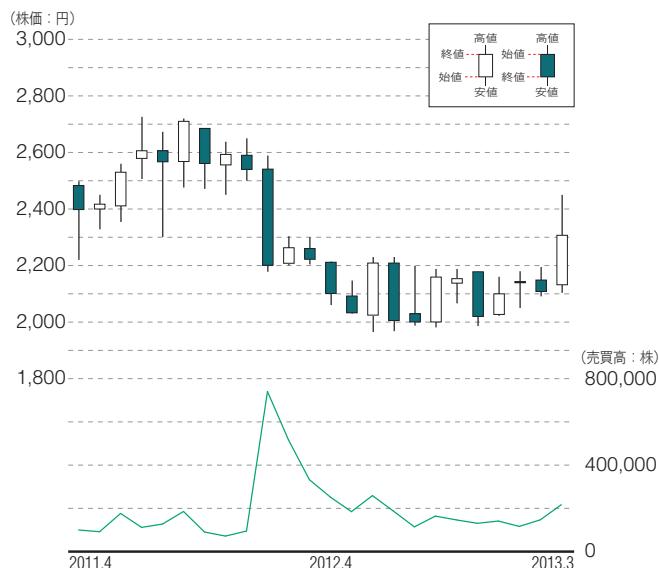


■1,000株以上所有(一律)
《こだわり厳選セット・無洗米2kg詰め3パック》
幸南食糧(株) <http://www.kohnan.co.jp>



■100株以上1,000株未満所有(一律)
《讃州育ち本切りセット・さぬきうどん300g×3袋(9人前)》
(株)めりけんや <http://www.merikenya.com>

●株価および株式売買高の推移



『現場の、「カイゼン」を形に!』をテーマに平成24年11月15日（木）に花博記念公園 鶴見緑地 水の館ホール（大阪市鶴見区）、
『生産性の向上と省力化への貢献～未来を切り拓く～』をテーマに平成24年12月6日（木）に名古屋国際会議場 4号館 白鳥ホール（名古屋市中熱田区）においてメカニカルパーツ&システム総合展をそれぞれ開催いたしました。

● MEKASYS in OSAKA



● MEKASYS in NAGOYA



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日までの1年
剰余金の配当基準日	3月31日（中間配当を行う場合は9月30日）
定時株主総会	毎年6月
単元株式数	100株
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
公告方法	電子公告といたします。 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法といたします。
証券コード	9902
株主優待制度	毎年9月30日現在の株主名簿に記載または記録された所有株式数100株以上の株主様に対して当社指定粗品を贈呈いたします。

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵送物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
お問い合わせ先		フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00~17:00)
各種手続お取扱店 (住所変更、株主配当 金受取り方法の変更等)	お取引の証券会社等になります。	みずほ証券 本店、全国各支店および営業所 プラネットブース(みずほ銀行内の店舗) でもお取扱いたします。 *カスタマープラザではお取扱できませんのでご了承ください。 みずほ信託銀行 本店および全国各支店 *トラストラウンジではお取扱できませんのでご了承ください。
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行およびみずほ銀行の本店および全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります)	
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・お問い合わせ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。

【上場株式配当金の支払いに関する通知書について】

租税特別措置法の改正により、株主様に支払配当金額や源泉徴収額等を記載した「支払通知書」を通知することとなっております。つきましては、「支払通知書」の法定要件を満たした「配当金計算書」を同封しておりますので、確定申告の添付資料としてご使用ください。

なお、配当金を株式数比例配分方式によりお受け取りの場合、源泉徴収額の計算は証券会社等にて行われますので、確定申告の添付書類としてご使用いただける「支払通知書」につきましては、お取引の証券会社等へお問い合わせください。

IRインフォメーション

IRに関するお問い合わせ先

当社ホームページIR関連のお問い合わせフォームより承っております。資料請求、ご質問、ご意見、ご要望などがございましたら、気軽にお問い合わせください。

■2012年のIRカレンダー

- 7月12日 ▶ 個人投資家向け会社説明会
場所：ホテルコムズ大阪（旧三井アーバンホテル大阪）中津
- 7月27日 ▶ 個人投資家向け会社説明会
場所：野村證券株式会社 上本町支店
- 8月3日 ▶ 2013年3月期第1四半期決算発表
- 8月22日 ▶ 2013年3月期第1四半期決算説明会 スモールミーティング
場所：JAビル304号室
- 11月12日 ▶ 2013年3月期第2四半期決算発表
- 11月14日 ▶ 2013年3月期第2四半期決算説明会
場所：LEVEL XXI（レベル21）シルバールーム

■2013年のIRカレンダー

- 2月4日 ▶ 2013年3月期第3四半期決算発表
- 2月27日 ▶ 2013年3月期第3四半期決算説明会スモールミーティング
場所：JAビル304号室
- 5月8日 ▶ 2013年3月期決算発表
- 5月22日 ▶ 2013年3月期決算説明会
場所：LEVEL XXI（レベル21）オリオンルーム
- 6月21日 ▶ 第62期定時株主総会開催

配当金のご案内

当社の配当方針は、平成16年5月の取締役会で「配当性向20%以上、1株あたり20円を下限とする。」と定めております。

当事業年度の期末配当金につきましては、1株につき普通配当40円（年間）にて実施いたしました。

翌事業年度の期末配当金につきましては、1株につき普通配当40円を予定しております。

メカニカルパーツ&システム

MEKASYS

<http://www.mekasys.jp>

「MEKASYS」は、株式会社日伍の登録商標第5354848号です。

